

県 広 報

とやま

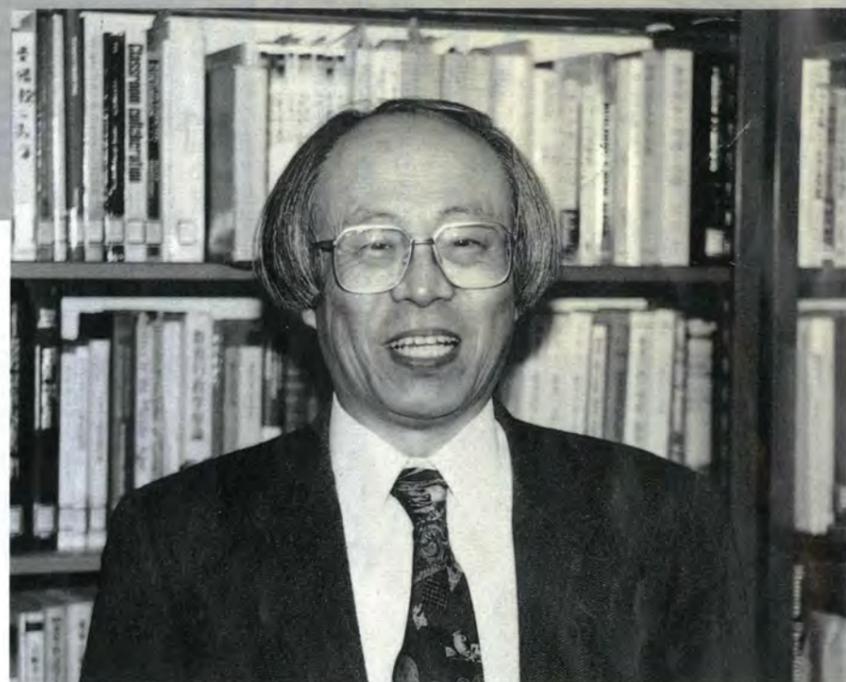
特集/平成6年度富山県予算

TOYAMA PREFECTURAL REPORT



4

1994 No.303



「一人ひとりが主役です」

第6回全国生涯学習フェスティバル「まなびピアとやま'94」
企画委員会座長 新井郁男さん

今年の十月六日から十日までの五日間、富山で生涯学習の祭典であるまなびピアとやま'94が開催されます。「どんなことを学習したらよいのか、また学習することによってどんな意義があるのかをこのフェスティバルに参加することで皆さんに感じとっていただければと思います」と企画委員会座長を務める新井郁男さん。上越教育大学で教育社会学の教授として生涯学習、生涯教育のあり方を研究している新井さんは、各分

野で活躍している企画委員とともに、いかに富山らしさを盛り込んで行けるかについて検討を進めていきます。「生涯学習は決して強制されるものではなく、自ら楽しみ、遊び心を持ちながら取り組んでいくことが本来の姿だと思っています。それだけに富山の特色を生かしながらだれもが気軽に参加できるような大会にしていくことが大切になってきます。」委員会の果たす役割は、県下五市町の海上の地域性を生かしたテーマづくりのほか、生涯学習活動の紹介・展示を行う見本市や郷土芸能などを発表する体験広場などの企画概要へのアドバイス、テクノホール周辺を一体化した「学びのゾーン」づくりなどの会場設定、県外に住む県内出身者にも参加を促し富山を再発見してもらうための企画の提示など多種多様。また二〇〇件を超える民間団体等からの主催事業の参加申し込みには、生涯学習に対する関心の高さが伺え、委員一同手ごたえを感じています。「フェスティバルの目的は、県民の方が生涯学習の成果を発表し、評価されることで次への学習活動を一層充実させることにあります。生涯学習社会の実現のためにも成功に向け、これからは委員の意見をうまく企画のなかに取り入れていきたいですね」とこやかに話す新井さん。その目には、半年後のまなびピアとやま'94に多くの人が親しみ、体験を深めている姿がはっきりと映っていました。

4 CONTENTS

4月号もくじ

撮影／赤羽仁諭(富山写真家協会会員)	表紙
とやま遊学感／富山県陸上競技場	表2
ひとアズとやま／新井郁男	1
特集／平成6年度富山県予算 21世紀を展望した 県づくりの推進	2
PINUPPTOYAMA 写真／滝川邦彦、詩／青塚与市	8
クローズアップ／県政の動き	10
①らいちょうバレー雪の祭典	
②第3回新たな国土の軸を考える シンポジウム	
③富山空港ジェット化10周年記念 事業	
エッセイ／養島良二(方言研究家)	12
まなびピア'94の概要⑤	13
県からのお知らせ	14
暮らしのアドバイス	16
とやまの祭事記／酒と楽	表3



ビッグフィールドにびっくり

富山県陸上競技場

レポーター:らいちょうバレー雪の女王 沢端 裕子さん

メインスタンド



室内にある日本一長い
300mトレーニング走路



地下一階のト
レーニングルーム

今回、私が案内していただいたのは、昨年の十月にオープンした富山市南中田にある富山県陸上競技場。平成十二年の完成に向けて建設を進めている富山県総合運動公園内にある施設で、外観が連続した曲線で構成されているせいか、とても柔らかな印象を与えてくれます。中に入ってみて、まずトラックフィールドの広さに驚いてしまいました。約三万人が収容できる観客席や国際競技の流れを先取りしたという日本初の九コーストラックなど、その規模の大きさにただただ感心。また、家族連れで楽しめる芝生席があることや体の不自由な人にも楽しく利用してもらえるように、スタンドやフィールドへの出入り口にも気が配られていることを知り、親しみもわいてきました。それから天候の悪い日にも運動したいという方は室内にある日本一長い三〇〇mのトレーニング走路のほか、地下一階のトレーニングルームを活用してみてください。エアロバイクやいろいろな運動器具で気軽に汗を流すことができますよ。

もうすぐ夜間照明も整備され、六月には、Jリーグの前期公式戦が開催されます。また、今年の夏に開催される、高校総体のメイン会場にもなるこのことで、スポーツ観戦が大好きな私にとってこれからのいろんな感動を味わえる場となりそうです。

平成六年度の富山県予算は新県民総合計画に基づき、本県の発展と県民福祉の向上を図ることを基本とし、景気対策にも十分配慮して編成しました。

第一に、二十一世紀を展望した施策として、県立中央病院、新川文化ホール(仮称)、とやま女性総合センター(仮称)、県立大学大学院、全県域下水道化構想など主要なプロジェクトを着実に進めます。また、今年開催される全国高校総合体育大会、全国生涯学習フェスティバル、技能五輪全国大会の実施に万全を期することとしています。

第二に、景気対策として、公共事業の積極的な確保、主要県単独建設事業や中小企業金融の大幅な増額等のほか、農業農村対策にも積極的に取り組み、生産性の高い農業の実現をめざします。

第三に、県民の福祉・健康づくりとして、老人保健福祉計画に基づく高齢者福祉の拡充、とやま健康村(仮称)や総合福祉会館(仮称)の計画推進、公的病院整備の助成など多様化する県民ニーズにきめ細かく対応します。

これらの諸施策を着実に推進するとともに行政組織及び行政運営全般にわたる改革を進めて二十一世紀に向けた県づくりを進めていきます。

21世紀を展望した 県づくりの推進

平成6年度富山県予算



明日を拓く 人づくり

(2,067億5,750万円)

1 健康・福祉の増進 (872億840万円)

社会福祉の充実

福祉の中核を担う総合福祉会館(仮称)の整備に向け、設計競技等を行います。また、新しく策定する老人福祉計画に基づき、市町村とともに生きがい対策の充実、住宅や施設における保健福祉サービス体制の整備など老人福祉施策を総合的に展開します。

児童や母子の保健福祉について新たに公立保育所における延長保育を支援するほか、切迫早産に係わる医療費の公費負担を実施します。

生活の中の健康づくり

県民の健康づくりの拠点や伝統医学に関する国際的情報発信・交流基地となるよう、とやま健康村(仮称)の計画を進めます。また、壮年期におけるがん対策を進めるため、新たに職域検診の実態調査を実施するとともに、中小企業従事者のがん検診の機会を拡大します。

このほか、県民の歯の健康づくりを総合的に進めるため、歯科保健計画を策定するとともに、新たに休日夜間歯科診療の実施や心身障害者の歯科診療を拡充します。

県立中央病院の整備

中央病院については、診療棟部門の改築整備を進めており、来年の春の完



成をめざしています。新診療棟には高度医療を提供する整備を導入するほか、歯科、外来診療室を増やして予約診療を拡充するなど、より患者の立場に立ったサービスの提供をめざします。

スポーツ・レクリエーションの振興

今年、七月に開催される全国高校総体。競技等の運営に万全を期すとともに県下の高校生が一人一役運動を積極的に展開するなど富山らしい心温まる大会となるよう努めます。また、二〇〇〇年国体

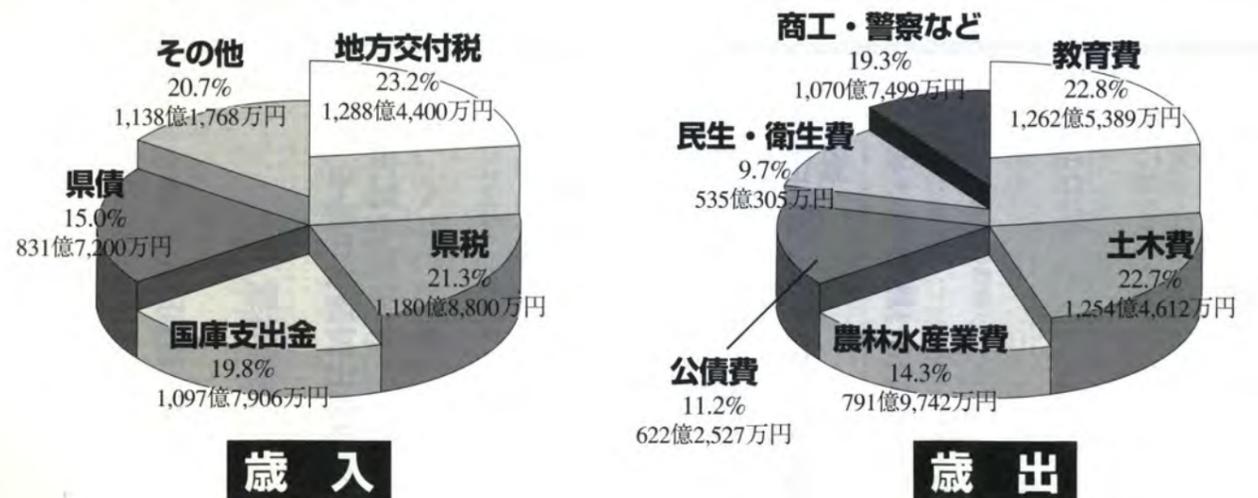


については、整備体制の整備や新たな強化指定企業チームにスポーツトレーナーを派遣するなど選手強化の充実に努めます。

富山県高

平成6年度 一般会計歳入・歳出予算額 5,793億9,489万円

(特定資金債(いわゆるNTT債)繰上償還費を除いた額は5,537億74万円で、内訳は下のグラフのとおり)



2 生涯学習の推進 (1,070億4,027万円)

生涯学習社会の 基礎づくり

今年十月に開催される全国生涯学習フェスティバル
まなびピ
ア富山94については、学習県富山にふさわしい創意と工夫をこらした県民総参加の祭典となるよう努めます。



デザイン:石森 肇 大郎

3 科学・文化の振興 (72億9,201万円)

科学の振興基盤強化

県立大学に大学院を開設するとともに、生物工学研究センターの増築工事に着手します。また、次代を担う子供たちの科学する心を育むため新たに親子科学研

究室を開催します。



新川文化ホール完成予想図

芸術文化活動の振興

県東部の芸術文化活動の中核的施設となる新川文化ホール(仮称)について、今年秋の開館をめざし建設を進めます。また、下保昭作品展示施設基本構想のもとに新美術館の建設に着手するほか、舞台芸術活動等の拠点として利賀芸術公園(仮称)の整備を進めます。

- ・平成八年度の国民文化祭とやま'96の準備推進
- ・第四回世界ボスター・トリエンナーレトヤマ展の開催

魅力ある郷土づくり

(2,289億6,021万円)



1 快適な暮らしの実現

(417億9,857万円)

安全で快適な生活環境の形成
とやま環境財団の活動基盤を強化するとともに新たに市町村のゴミ減量化・再生利用事業に助成するなど環境の保全に努めます。また、高規格救急車の導入に支援するほか、常備消防の広域化を促進します。

- ・住みよい家づくり資金の充実
- ・地震、津波による被害防止策の調査研究

2 魅力ある地域づくり

(277億4,976万円)

花と緑の環境づくり
花と緑の県づくりについては中央植物園の展示温室等の建設を進めるほか、市町村の専門植物園の整備に助成するなど、植物公園のネットワークを進めます。また、地域花壇リフレクシユ事業の実施やグリーンキーパー等の増員など花と緑の銀行事業を充実します。

- ・地域づくり総合支援事業の創設

3 県土の保全と活用

(923億7,059万円)

全県域下水道化の推進
小矢部川流域下水道については、区域内の全市町村で供用が開始されることになるほか、神通川左岸流域下水道基本計画等の策定に對し助成するとともに、農村下水道の整備や合併処理浄化槽の普及を図ります。



- ・富山市大手町地区の整備基本計画の策定
- ・第十三回全国都市緑化フェア(平成八年度開催)の整備推進

4 若者と女性の力を社会に

(21億549万円)

女性の能力の発揮
みどり豊かな男女協同社会の実現をめざす活動拠点としてのとやま女性総合センター(仮称)について実施設計に着手します。

二〇〇X年燃える県民プログラムへの取り組み
二十一世紀に向けて県民が燃えることができるイベントやプロジェクトなどを県民参加でつくりあげていくため、若手有識者などで構成する「二〇〇X年燃える県民プログラム構想委員会(仮称)」を設置するほか、県民からの提案募集を行う

5 長寿余暇社会への対応
(31億1,130万円)

長寿を支えるしくみづくり
いきいき長寿財団や老人クラブ活動を支援するほか、高齢者バス教室など生きがいと社会参加メニュー事業を実施するなど、生きがいと健康づくり施策を進めます。

- ・余暇ビジョンに基づくとり名人等発掘事業の実施



日本海ミュージアム構想の推進

日本海博物館(仮称)の基本計画の策定を進めるなど、海のプラザ日本海ミュージアム構想を推進します。また、本県に恒久展示できることになった海王丸の今後の活用のあり方等について検討します。



4 交通・情報通信体系の整備

(661億3,206万円)

北陸新幹線の建設促進
北陸新幹線については、石動・金沢間や糸魚川・魚津間の建設工事を促進します。また、新たに建設推進準備事業として実施される富山駅部の全体構想調査が着実に進められるよう積極的に協力します。

伏木富山港の整備
伏木外港の建設や新湊地区の公共マリーナの整備を進めるとともに、新湊

情報通信基盤の整備

近年の情報機器の高度化に対応して、高度な情報通信基盤の整備が大切になっていきます。このため、光ファイバ等の次世代情報通信基盤の整備や活動のあり方について調査に取り組みます。

- ・北陸自動車道(上越・朝日間の四車線化の促進)
- ・ウラジオストク便やソウル便等の利用促進

5 国際化時代への対応

(9億921万円)

環日本海交流の推進
環日本海交流拠点の形成を図るための施策の企画立案に取り組みほか、沿岸府県と共同で環日本海交流圏に関する調査を実施します。また、中国遼寧省、ロシア沿海地方、韓国江原道との間で、研修員や留学生の受け入れ、人材育成について協力するとともに環日本海児童作品展を開催するなど交流を進めます。

中国遼寧省との交流

今年で友好提携十周年を迎える中国遼寧省との交流を一層進めるため、友好代表団の相互派遣などの記念事業を実施するとともに同省で日本語を学ぶ学生に対する奨学金制度を創設します。

- ・ロシア語やスポーツ分野の国際交流員の全国に先がけた配置
- ・とやま国際センターの活動基盤の強化

自然の保護と利用

立山カルデラ砂防総合展示施設について



活力ある産業づくり

(1,128億6,236万円)

1 新世紀への産業展開 (15億1,474万円)

先端技術の 開発利用

農業技術センターのバイオ研究棟において、先端技術研究を開始するほか、世界各国のチューリップ原種等を系統的に保存、活用するため、チューリップ遺伝資源センター(仮称)の整備を進めます。また富山の深層水を利用したサクラマスなどの増養殖研究に着手するとともに、非水産分野での深層水の利用の可能性について基礎調査を行います。



・企業の事務所等が立地する業務拠点地区(オフィス・アルカディア構想)の具体化に向けての諸準備
・畜産試験場の移転改築に向けた基本構想の策定
・環日本海貿易交流センター事業の充実

2 農林水産業の振興 (595億8,484万円)

たくましく魅力ある 農業の確立

本県農業の現状は、高齢化の進展、後継者対策などの問題に加えて、ガット・ウルグアイ・ラウンド農業交渉による輸入の拡大など極めて厳しい環境にあります。このため、農業農村対

5 雇用と勤労者福祉 (37億5,669万円)

雇用の安定

長引く景気の低迷で最近の雇用情勢はたいへん厳しいものとなっています。このため、企業の雇用維持に向けた取り組みを支援するとともに、地域別の懇談会や女子学生雇用セミナーなどを実施し、雇用の安定と離職者の再就職を促進します。なかで

3 工業の振興 (451億3,492万円)

中小企業の振興

現在の厳しい経済情勢に配慮し、中小企業の経営を安定させるため、地域産業対策資金などの制度融資を大幅に増額するとともに中小企業高度化資金を確保します。また、小矢部・砺波地域の繊維工業など特定中小企業の集積活性化促進地域においては、特別融資制度の活用や新製品の開発に対する助成などを行います。さらに下請企業相談を充実するとともに受発注取引促進会議を開催し、下請企業の受発注の確保に努めます。

・地域技術ネットワーク形成事業への取り組み
・伝統医療シンポジウムの開催



4 商業・サービス業の振興 (28億7,116万円)

魅力ある 商店街づくり

商店街のカラー舗装などの商業基盤施設や顔づくり施設等の整備に助成します。また、映像により各種情報を提供する商店街の映像情報化推進事業や中小企業活性化基金を活用した、にぎわい創出のイベントを支援するなど魅力ある商店街づくりを進めます。

・よこそ富山キャンペーンの実施
・韓国国際観光展、国内における世界リゾート博や世界祝祭博への参加

施策の実施のために

(1,333億3,202万円)

イメージアップ等

新聞の全国紙等を活用して、地域からの情報を全国に発信する地域情報発信事業に取り組むほか、県内の公的施設等を紹介した公的施設利用ガイドブックを作成し、県内全世帯に配布するなど、施設利用の向上を図ります。

組織機構

高齢化、国際化、県民の価値観の多様化などに伴って生ずる新たな行政ニーズに積極的に対応し、二十一世紀を展望した富山県の政策目標を実現する基盤づくりとして再編整備を行います。主なものは次のとおりです。

・総合的な政策形成・調整機能の充実強化のための企画部の設置

・県民生活重視の行政を展開するための生活環境部の設置

・企画部及び生活環境部の設置に伴う企画県民部の廃止

・農林水産行政の一体化・総合化を図るための農林水産部の設置

・農林水産部の設置に伴う農業水産部及び農地林務部の廃止

職員定数

知事部局と警察の職員については据え置き。教職員については児童生徒数の減少に伴う学級減等により、全体として五十二人を減員します。

機構改革による部及び室課の編成について (○は部の連絡課)

改正後	
<p>総務部</p> <ul style="list-style-type: none"> ○人事課 文書学術課 国際課 財政課 管財課 税務課 地方課 消防防災課 <p>企画部</p> <ul style="list-style-type: none"> ○企画調整課 秘書課 広報課 計画課 情報企画課 日本海政策課 新幹線交通政策課 統計課 <p>生活環境部</p> <ul style="list-style-type: none"> 県民生活課 女性青少年課 水雪土地対策課 環境政策課 自然保護課 環境保全課 環境衛生課 <p>厚生部</p> <ul style="list-style-type: none"> ○社会福祉課 高齢福祉課 児童家庭課 障害福祉課 保険課 国民年金課 医務課 健康課 健康村建設室 業務食品課 業業振興課 	<p>商工労働部</p> <ul style="list-style-type: none"> ○商工企画課 中小企業課 商業振興課 観光通商課 労政課 職業安定課 職業能力開発課 雇用保険課 <p>農林水産部</p> <ul style="list-style-type: none"> ○総合企画室 農林総務課 流通経済課 普及技術課 生産振興課 畜産課 耕地課 農村環境課 林政課 治山課 水産漁港課 <p>土木部</p> <ul style="list-style-type: none"> 工事検査室 ○管理課 企画用地課 道路課 河川課 河川開発課 港湾課 航空対策室 砂防課 都市計画課 総合運動公園建設室 下水道課 建築住宅課 宮繕課

※太字は新設・名称変更



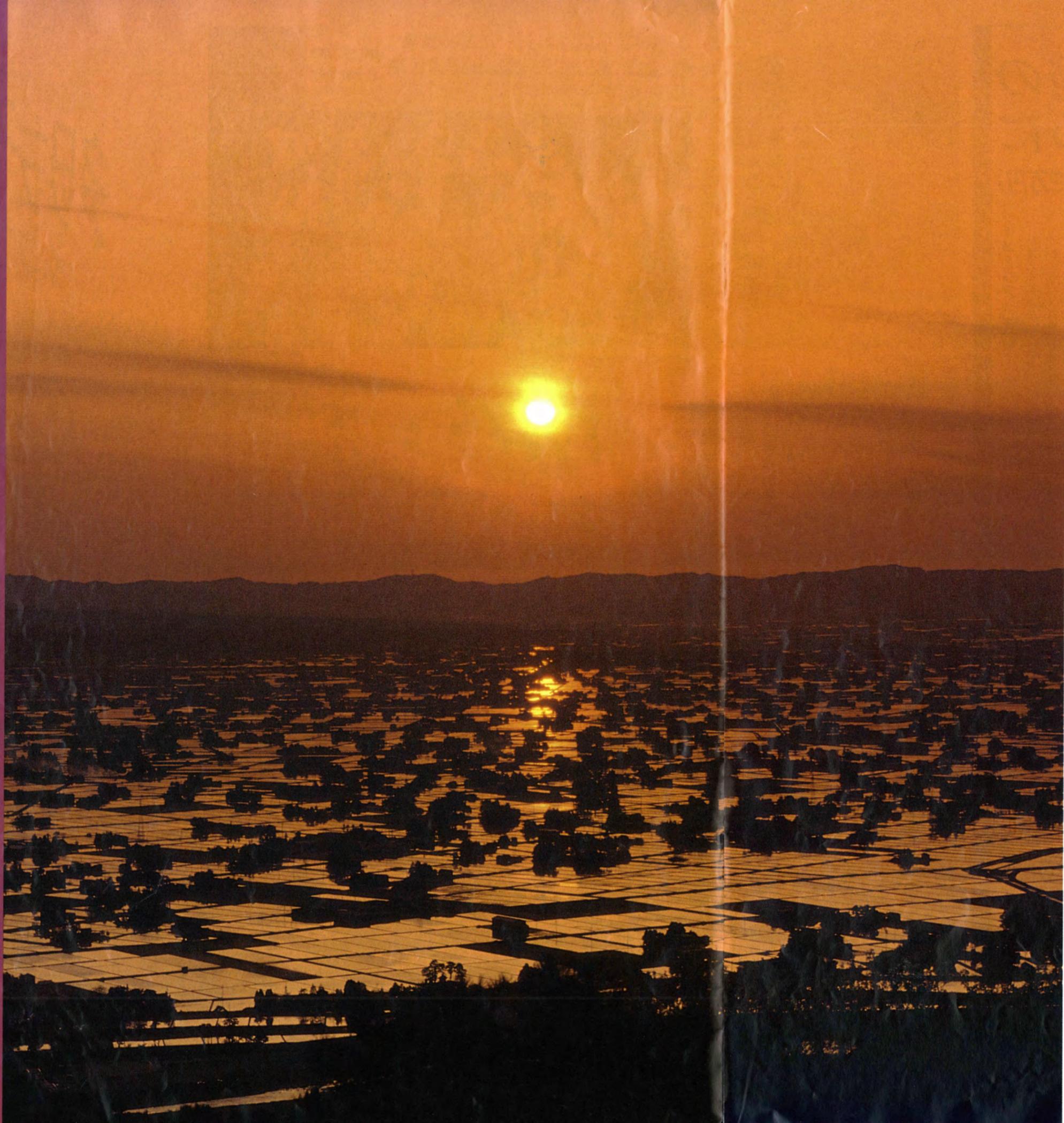
も、景気低迷の影響を受けやすい高齢者、身体障害者、パート労働者の雇用の安定に十分配慮します。

技能五輪全国大会の開催

今年、十一月に地方開催第一号として本県で開催される技能五輪全国大会については、会場の整備や選手の強化に取り組むほか、環日本海諸国の選手による友好競技を実施するなど富山県

らしい大会となるよう努めます。

・黒部職業能力開発センターの移転
・中小企業の労働時間短縮の促進
・勤労者総合福祉センター(B型)の整備促進
・産業保険推進センターの誘致



小さな生活の喜びと悲しみが
大きな夕陽の渦に溶けて流れる
いま一日の平安が
くつきりと浮かびあがり
散居の砺波野は
静かに明日に向かって広がる

深い静寂のなかに
春光の夜明けを予感しながら……





新たな国土の軸を考えるシンポジウム 第3回

■主催/国土庁 日本海沿岸地帯振興連盟 富山県



「交流・連携は境を越えて」をテーマにした新たな国土づくりの方向性について、また続くメインセッションでは「いきいき・ちいき・自律と連携」をテーマにしたいきいきとした地域づくりとそれを支える基盤、仕組み等についてパネリストによる活発な討議が行われました。これらを踏まえて最後に「新たな国土形成を語りある『いきいき地域』から」とする声明が取りまとめられました。

盛岡市、大分市に続く3回シリーズとして「新たな国土の軸を考えるシンポジウム」が富山市で開催されました。これは、地域が主体的に発展していくための地域間の交流・連携の必要性について議論し、その成果を新たな国土軸のあり方などの検討に反映するため開催されたもので、今回は、国土庁、都道府県、県内市町村等の関係者など約五百人が参加。シンポジウムでは「プレセッション」として

2/25 「新たな国土形成理念の創造に向けて」をメインテーマに

第三回新たな国土の軸を考えるシンポジウム



▲商品めざして、ジャンケンポン!



▲あつあつナべて、あつたまろう。

2/26~27 雪にフェスタの華が咲く

2/26~27

雪にフェスタの華が咲く

らいちょうバレー雪の祭典開催

「らいちょうバレー雪の祭典」が、大山町のらいちょうバレースキー場で開催されました。二十六日の前夜祭はあいにくの雪模様となりましたが、たいまつ滑走や餅つき大会、イス取りゲームなどが行われ、会場は楽しい雰囲気になっていました。二十七日には、各種ゲーム大会が行われたほか大漁鍋が無料でふるまわれるな

ど、訪れた多くのスキーヤーたちを楽しませていました。また、歌手の大東めぐみさんのステージや、「雪の女王コンテスト」が祭典に華を添え、会場の雰囲気を盛り上げました。雪の女王に選ばれた三名は、今後一年間、らいちょうバレースキー場のキャンペーンを行うことになっています。



▲雪の女王スリーショット 左から桑田さん、沢端さん、中川さん

県政の動き

H6. 2月11日~3月10日

- 2月11日 第4回花と緑の冬のフェスティバル (~13日)
- 雪国交流シンポジウム (~12日)
- 2月15日 第11回富山県高等学校生徒海外派遣団 結団社行式
- 2月17日 農業振興表彰式
- 2月21日 富山県農林漁業婦人の日推進大会
- 2月24日 平成6年度予算案事前説明
- 2月25日 新たな国土の軸を考えるシンポジウム
- 2月26日 平成6年度予算案発表
- らいちょうバレー雪の祭典 (~27日)
- 富山県コロンブス計画第12回ティーチイン (~27日)
- 2月28日 平成6年度行政改革の発表
- 3月1日 富山県警察本部庁舎新築工事定礎式
- 3月2日 ねたきり防止国際セミナー
- 3月3日 第1回児童環境づくり推進協議会
- 3月4日 3月定例県議会 (~25日)
- 3月7日 第1回富山県総合福祉会館(仮称)基本計画策定委員会

3/18

さらに飛躍する 富山の空の玄関口

富山空港ジェット化10周年記念事業

この間、東京便の増設をはじめ平成三年には、名古屋、札幌便の開通、昨年四月からは、初の国際定期便であるソウル便が就航しています。三月十八日の記念事業では、話題のマリンジャンボJr.の無料遊覧飛行や見学会が行われ、多くの人たちが「空飛ぶ鯨」を楽しんでいました。なお、富山空港では四月からソウル便が増便され、また、夜間駐機の実施により東京便への日帰り出張がより便利になりました。さらに今後、ウラジオストクの開設や駐車場の拡張なども予定されており、環日本海交流の「空の拠点」として重要な役割を果たすことが期待されます。



昭和五十九年に富山空港がジェット化空港となつて以来今年で十年を迎えま



まなびピアとやま'94



▲県警音楽隊のパレード

第六回全国生涯学習フェスティバル本番まであと二日に迫った三月二十一日、「200日前イベント」が富山市総曲輪の富山西武前ビルロティで華やかに繰り広げられました。フェスティバルは「高志のくに」か

ら「ひろがる学び」をテーマに、十月六日から十日までの五日間、三十万以上の参加をめざし県内の五市町で開催されます。「200日前イベント」は日本海側で初めて開かれるフェスティバルを広く県民に知ってもらい、参加を呼びかけるために開催されたものです。午後一時半、県警音楽隊の奏でる勇壮なブラスの響きで幕を開けた特設ステージではマジックショー、エアロビクスが披露されたほか、ギネス記録に挑む「チャレラン（チャレンジランキングの略称）大会」も開かれ、子どもからお年寄りまで多くの人々が参加しました。マスケットのマナビイ君も登場し、楽しい学びの祭典のPRに一役買っていました。



200日前イベント華やかに!



▲マナビイ君



方言「いんがし」

方言研究家 蓑島 良二

富山は日本のほぼ真ん中にあり、東西方言の分水嶺と位置づけられている。言語学上は親不知／糸魚川あたりで線引きされているようだが、言葉・アクセントの絡みもあって厳密な仕分けは難しいのではないだろうか。

県内の分布についてもおなじこと。新川圏と小矢部川流域の違いは目立つものの、黒部の人が「魚津のことばは関西系」だと言ったとしても、重なり部分が多く玉虫色。

都ことばが地方へ伝わる過程で少しずつ変化してあろうことは想像に難くない。その一方で、大伴家持が「越の俗語」として万葉歌に詠んだ「あゆの風」が青森から山陰地方にまたがる現役の方言であることを見れば、地方固有の民俗伝承は根強く底堅い。

島根方言の幾つかは富山のことばに共通するものがある。古の都から彼我それぞれへの隔たりを考えれば、流布・転訛が自然の波形と見られなくもない。ところが、上新川・舟倉山の姉倉姫と柚木山の能登姫の間で紛争が起き、出雲から大國主命が出張し鎮圧したのが越中の国の始まりだとする神話がある。もしそこに人的交流があったとすれば、両県類似方言の解明ができるかも知れぬ。近來「古語に因む方言」をテーマに老学を

楽しんでいる。そこで、古事記「須佐之男命の大蛇退治」のくだりを抽くと「高志の八俣の大蛇（略）その目は赤加賀智のごとく」の記述がある。「高志」の地名も気になるところだが、「あかがち」はホオズキの古名。

近所の古老の中に「目をカガチにして（輝かせて）……」という人があり、カガチは富山の方言として生きつづけていることになる。

集落がダム湖底に沈み、有峰を去った人たちの多くは平家落人の子孫だったらしい。数百年来、毎年初午の日に飛驒の天領（朝廷の領地）へ遊びにでかける風習があり、チョーハイと呼んだという。飯田辰彦氏調査「チョーハイ（里帰り）の語源は元旦の宮中拝賀式「朝拝」と見られており、県下一円と飛驒・加賀地方の一部に伝わるこの方言のルーツ解明の鍵が平家の落人にあるとすれば、歴史ロマンの影絵が浮かび上がってくる。

目下のところ方言の多くは急速に消えつつあり、共通語化の波に飲み込まれようとしている。地方の文化はその土地のことばで語られてこそ生気が宿る。父祖伝来の良俗継承のためにも、古語に裏打ちされた賑やかな越中ことばの血脈をあらため、マタイ（始末・保存）して置きたいと考えている。



県政バス教室 参加者募集

いよいよ5月から県政バス教室が始まります。今年新たに「わたし発見生涯」学習の一コースをプラスしてみなさんの参加をお待ちしています。県政の動きや、富山の良さを実際に自分の目で見て、体験して、感想などをどんどんお聞かせください。なお、お一人でも、グループや団体でも参加できます。親子の体験学習は、夏休みにどうぞ。

※親子バスは小学校三～六年生の親子が対象です。※参加費は無料。ただし入館料等の実費は参加者負担となります。

参加募集

申し込み期間 (消印有効です。)

5月運行分	4月1日～4月9日
6月運行分	4月11日～4月22日
7月運行分	5月2日～5月18日
8月運行分	6月1日～6月15日
親子バス運行分	6月13日～6月25日 (夏休み期間に運行)
9月運行分	6月27日～7月12日
10・11月運行分	7月25日～8月11日

申し込み・お問い合わせ

地区	申し込み先	所在地・郵便番号・電話番号
富山	企画部広報課	富山市新総曲輪1-7 富山県庁内 〒930 ☎(0764)31-3131
高岡	高岡地方県民相談室	高岡市赤祖父211 高岡総合庁舎内 〒933 ☎(0766)21-9411
魚津	魚津地方県民相談室	魚津市新宿10-7 魚津総合庁舎内 〒937 ☎(0765)24-5311
砺波	砺波地方県民相談室	砺波市幸町1-7 砺波総合庁舎内 〒939-13 ☎(0763)33-5151

講座案内

講座名	テーマ	月日	曜	時間	回数	定員	会場
人間探求講座	人間と宗教	5/9	月	10:00～12:00	10	60	高岡文化ホール
	世界の動き	5/12	木	14:00～16:00	10	60	高岡文化ホール
	夜間ゼミ・現代を読む	5/17	火	18:30～20:30	5	20	県民カレッジ
リーダー養成講座	生涯学習実践講座①	5/13	金	14:00～16:00	10	60	県民カレッジ
	生涯学習指導者養成講座	6/15	水	9:00～16:00	10	50	県民カレッジ
ボランティア養成講座	ビデオ実践セミナー(初級)	6/6	水	18:00～21:00	5	20	県民カレッジ
	とやまの自然を探る	5/15	日	10:00～12:00	10	60	県民カレッジ
ハイビジョン視聴講座	美との出会いI	5/17	火	10:00～12:00	5	80	県民カレッジ

問い合わせは県民カレッジへ
富山市舟橋北町7-1 ☎(0764)41-8635

応募は、住復はがきで

個人・グループ	団体
<input type="checkbox"/> (住所) (氏名) 様 ・氏名 ・住所 ・電話番号 ・参加人数 ・コース及び運行日 ・第1希望 ・第2希望	<input type="checkbox"/> (住所) (氏名) 様 ・団体 ・代表名 ・氏名 ・住所 ・電話番号 ・参加人数 ・コース及び運行日 ・第1希望 ・第2希望

※団体とは、単一団体又は数グループで構成された概ね25～35名の集団をいいます。

親子で自然に親しむ つどい(春)

自然の中で親子が共に活動し、親子のふれあいや春の自然とのふれあいを深めます。(自然観察・ネイチャーゲームと野外炊飯へたけのこ飯)

日時 5月14日(出) 午前9時～午後4時
場所 二上山周辺

対象 小学校児童(4年生以上)とその保護者(100名)
参加費 無料(ただし傷害保険料200円)
締切 4月27日(水)まで(定員になり次第締切ります。)
申込み 富山県二上青少年の家
〒933 高岡市二上鳥越20-1
TEL 0766・21・0001
FAX 0766・21・0002

みんなでつくろう安心の街

〔第2回〕親子で自然に親しむ つどい(春)

この時期は、新入学時とも重なり、子供たちの新しい自転車や、春になって利用する機会が多くなるオートバイの盗難が懸念されます。次のことに注意して、身近な犯罪を防ぎましょう。

- ・自転車には防犯登録をしましょう。
- ・ワイヤー・チェーン錠で二重ロックしましょう。
- ・路上に放置しないで駐輪場を利用しましょう。
- ・オートバイは、ハンドルロックを確実にしましょう。

啓発

春山は、寒暖の差が激しく、吹雪に見舞われることも珍しくありません。遭難事故を防ぐため、一、雪溪・雪稜では、アイゼン、ピッケルを使用しましょう。二、天候の悪化が予想されるときは行動を中止し、安全な所へ引き返しましょう。三、山菜採りは、目印をつける等道に迷わないようにし、転落・滑落にも注意しましょう。

4月は土地月間です。

国土庁では、毎年4月を「土地月間」として、土地についての基本理念や地価公示制度の普及を図っています。地価高騰を生じさせないためには、私達県民一人一人が土地問題を理解することが大切です。本県では特に次の2点を呼びかけています。

- ① 一定面積以上の土地売買等の取引にあたっては、契約日の6週間前までに届出が必要です。
- ② 本年から地価公示の地点が増加します。公示地点の地価は、取引価格の目安となります。公示地点詳しくは、最寄りの市町村へお尋ね下さい。

お知らせ

平成6年度の固定資産税の評価替えに伴う不動産取得税の負担軽減措置について、次のとおり特例措置を講じます。

- ・宅地及び宅地比準土地の取得について
- ・平成6年中に取得する場合
- ・課税標準を価格の2分の1とします。
- ・平成7年及び平成8年中に取得する場合
- ・課税標準を価格の3分の2とします。

なお、くわしいことについては、最寄りの県税事務所へ、おたずねください。

※課税標準・市町村の固定資産税課税台帳に登録されている価格

みなさんの相談窓口

- 県政について
県民相談室 富山市新総曲輪1-7(県庁内) ☎(0764)31-4111代
31-3131(県民相談電話)
- 高岡地方県民相談室 高岡市赤祖父211(総合庁舎内) ☎(0766)21-9411代
- 魚津地方県民相談室 魚津市新宿10-7(総合庁舎内) ☎(0765)24-5311代
- 砺波地方県民相談室 砺波市幸町1-7(総合庁舎内) ☎(0763)33-5151代
- 物価ダイヤル
物価に関する苦情や相談があればお気軽にお電話ください。
☎(0120)16-7400(県庁県民生活課内)
- 消費生活については消費生活センター
富山市安住町7-18 安住町第一生命ビル内(一般相談は) ☎(0764)32-9233
(金融相談は) ☎(0764)33-3252
消費生活センター高岡支所 高岡市本丸町7-1 本丸会館内 ☎(0766)25-2777
- 交通事故については富山県交通事故相談所東別館1階 ☎(0764)31-4111 内4400
- 相談110番 相談
家庭問題・悪質商法・冤せい剤など、どんな相談にも応じます。
ヨニ フルイットナシ ☎(0764)42-0110
- シルバー110番
高齢者や家族の心配ごと、悩みごとに富山県高齢者総合相談センター 富山市舟橋南町5-14 社会福祉会館内 ☎(0764)41-4110

県からのホットニュース

- テレビ広報
●チューリップテレビ 毎週日曜日 AM9:30～9:45
「志の軸のふるさとトーク」
- 富山テレビ 毎週日曜日 AM9:00～9:30
「112万人のひろば〜クイズ/フォーカス・イン」
- 北日本放送 毎週日曜日 AM11:00～11:30
「こんにちわ富山県です」
4/3 県政バス教室スタート
4/10 夏まであと半年 まなびピアとやま'04(字幕放送)
4/17 私たちのふるさとづくり ～福野町～
4/24 楽しい春の観光
- ラジオ広報
●FMとやま「ふれあいホットライン」
県内各地からホットな話題をクリアなサウンドでおとどけます。
毎週月～金曜日 AM9:50～9:55
- 新聞広報
●北日本、富山、読売、北陸中日、朝日、毎日
毎月第2、最終日曜日
「県からのお知らせ」

5月街頭献血日程

日曜日	献血場所	時間
2月	JR富山駅前	10:00～16:00
5月	高岡市「ジャスコ高岡店」 ショッピングセンター前	10:00～15:30
9月	滑川市役所前	12:30～15:30
11月	福岡町役場前 JR福岡駅前	9:30～11:30 12:30～15:30
15日	富山西武デパート前	10:00～16:00
19日	入善町商工会館前	9:30～15:30
22日	魚津市「サンプラザ」 ショッピングセンター前	10:00～15:30
29日	大島町「アプロ」 ショッピングセンター前	10:00～15:30

※都合により変更する場合がありますので、当日の新聞・テレビの街頭献血案内等でご確認ください。

◎富山県赤十字血液センターでは、毎土曜日の午後も開所し(祝祭日除く)、献血を受け付けています。
富山県赤十字血液センター 富山市鮎野28-1 TEL(0764)51-5555

労働保険料の期限内申告・納付について

労働保険の平成5年度確定保険料と平成6年度概算保険料は、四月一日から五月一六日までに申告・納付していただくことになっています。

事業主の皆さんは、保険料申告書に保険料を添えて最寄りの銀行、郵便局、又は富山県雇用保険課、富山労働基準局、各労働基準監督署で申告・納付して下さい。

労働保険料は労災給付、失業給付として支払われているだけでなく、企業の雇用安定のための各種助成金、奨励金、勤労者の福祉施設等にも支出されています。

正しい申告納付を行い、これらの制度を有効に活用されて企業にお役立て下さい。

問合せ 富山県雇用保険課 ☎0764・44・4555
富山労働基準局 ☎0764・32・2727

4月29日「銀座みゆき通りチューリップカーペット」開催

富山から送った色とりどりのチューリップの花びら120万枚が、銀座みゆき通り300メートルにわたって敷きつめられるチューリップカーペット。富山県のPRとイメージアップを目的に今年で8回目を迎えますが、今ではみゆき通りにおける最大のイベントとなっています。当日は、午後1時からオープニングセレモニーやチューリップ切花のプレゼントなどもあり、富山県のチューリップが訪れる人々を楽しませることでしよう。



月収十万円の副収入を 保証するという資格講座

Q 「昨日、自宅に電話が入り、〇×士資格取得教材を勧められ、今日が締切りだと言われた。学生だと断ったら、月々七千円払えばよい。十月の試験に合格すれば、仕事を斡旋するので月十万円の収入になり、元金はすぐに取り戻せると言われ承諾した。しかし、大学の先生から〇×士の仕事はバイト的な考えでは勤まらないと言われ解約したい。」(富山市二十代の学生)

A 最近、このような電話による資格取得講座の勧誘が急増しています。職場などへ強引な電話勧誘をし、あいまいな返事を引き出し、契約を迫ったり、国家資格なのに受講するだけで取得できるといった虚偽のセールストークを使ったりします。また、最近では過去に受講した人に新しい資格講座を勧める二次被害も増えています。

電話による資格講座などの勧誘は、業者が独自で導入している場合を除き、クーリング・オフ(無条件解約)ができず、トラブルの解決を困難にしています。事例の場合は解約の意思が全く無いことを内容証明郵便で発信したところ、業者からの連絡が途絶えました。

このような被害に遭わないためには毅然とした態度で断ることが大切です。納得できない内容には契約しないように十分に気をつけ、もし、契約してしまったら、出来るだけ早く相談してください。

相談は、県消費者センター、電話0764(32)9233、
高岡支所、電話0766(25)2777

編集後記

★本誌は今月号から企画やサイズが変わり、装いも新たにスタートをきりました。これまでとは違う文章量に編集作業もさることながら、折からの天候不順で表紙の撮影日程を決めるにも四苦八苦。毎日、新聞の週間天気予報を食い入るように見つけていたせいか、撮影終了後の今もお天気マークが目の前をぐるぐる駆け回っています。(K)

★マリンジャンボJr.の取材で富山空港へ行った。快晴の空のした、遊覧飛行便やソウル便などがつぎつぎに離発着する光景はとも見応えがある。立山連峰もきれいに見えるこの場所は、結構良い展望ポイントだと再認識した。(A)

★ホテルイカの美味を味わった春、立山黒部アルペンルートでの壮大な自然に感動した夏、おわらの流麗な踊りに酔いしれた秋、そして、らいちょうバレーでダイナミックなスキーを楽しんだ冬。

広報業務を学ぶために青森県から来た私にとって、それぞれ味わい深かったこの一年は、貴重な体験になりました。

富山の皆さん、お世話になりました。これからは、富山ファンとして、キトキト富山をPRします!!

今月号で掲載したPIN UP TOYAMAの写真を抽選で5名の方にワイド六ツ切(25×18センチ)でプレゼントします。希望される方は、官製ハガキで下記の様式でお申し込みください。5月16日消印有効です。

氏名	富山市新総曲輪1-7
住所	富山県広報課
電話	写真プレゼント
本誌を読んだ感想	4月号係あて

四月

とやまの祭事記

はだかの男が幸せを呼ぶ 酒とり祭り

小矢部市下後丞・神明宮



四月、小矢部市の下後丞神明宮では、白鉢巻きに裃(かぶと)ひとつの若者たちが、境内を走り回り、柄杓のお神酒を参拝人たちに強引に飲ませる、奇祭「酒とり祭り」が行われる。

祭りは、お祓い、祝詞などの神事がしめやかに行われ、しし舞いが奉納された後、クライマックスの酒とり合戦が始まる。

大鳥居の下で待ちかまえる厄男たちが、太鼓を合図に一齐に駆け出し、狭い拝殿前に殺到する。先を争いお神酒を柄杓に受け取るや、再び引き返し境内の参拝人や見物人に誰かれの区別なく無理やり酒を飲ませてしまう。用意されたお神酒が無くなるまでそれが繰り返され続ける。

この祭りは三百年以上の歴史があると伝えられ、その昔、村に不慮の災害が続いたとき、祭礼の折りに大漁のお神酒を供えて参拝人にふるまえば、無病息災、五穀豊穰というお告げがあったことから始められたという。

境内を駆けぐる歓声と裸の男たちの熱気は、この地区の春の風物詩である。(参考文献 ふるさとの風と心 富山の習俗)

安全はゆるぎなく まっすぐと

春の全国交通安全運動



●期間

4月6日(水)～4月15日(金)

●重点

- ① シートベルト着用の徹底
- ② 子供と高齢者の交通事故防止
- ③ 若者による無謀運転の防止

これから、新入学期や春の行楽期を迎えて自動車等による交通事故の多発が予想されます。この運動は、県民のみなさん一人ひとりに交通安全の知識を広め、交通安全思想を高めるため実施するものです。交通ルールと交通マナーを守り、悲惨な交通事故の防止に努めましょう。